

令和6年度 新居浜市立別子小・中学校 学校評価

1 結果

(1) 集計結果

※ 評価の平均値（あてはまる）4→3→2→1（あてはまらない）に基づいて
の評価平均値、最高評価は4となる。

令和6年度 別子小・中学校教育活動に関するアンケート結果 ＜以下の評価内容に対して、（あてはまる）4→3→2→1（あてはまらない）＞					
項目	No.	内 容	児童	生徒	保護者 教員
Ⅰ 学 校 経 営	1	小・中学校は、地域とともに育つ学校を実現している。	4.0	3.2	3.9 3.9
	2	小・中学校は、積極的な授業公開と情報発信に努めている。			3.6 4.0
	3	小・中学校は、ESDを推進し、持続可能な社会の担い手育成を目指した教育活動をしている。	3.0	3.2	3.5 3.8
Ⅱ 教 育 活 動	4	子どもは、基礎的・基本的な知識及び技能が定着している。		3.6	3.5 3.6
	5	小・中学校や異学年間の連携や協働は適切である。	4.0	3.9	3.7 4.0
	6	ICT機器（タブレットパソコン等）を活用した個別最適な学びがなされている。	4.0	3.4	3.8 3.8
	7	主体的・対話的で深い学びにつながる学習ができています。	3.5	3.8	3.6 3.6
	8	個性や可能性を伸ばし、自立と社会参加に向けたキャリア教育を実践している。	4.0	3.2	3.6 3.6
	9	コミュニティスクールの強みを生かした教科横断的な学習が行われている。		3.7	3.6 4.0
	10	自ら進んで学び活動し、継続して実践できる児童生徒を育成している。	3.5	3.3	3.5 3.9
	11	一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かい指導や支援を行っている。	4.0	3.6	3.4 4.0
	12	いじめを許さず、自他ともに大切にする児童生徒を育成し、居心地のよい集団作りを行っている。	4.0	3.9	3.6 4.0
	13	健康や安全に関して正しく判断して、行動できる児童生徒を育成している。	4.0	3.6	3.5 3.8
	14	別子山地区での体験や経験を通して、生命への畏敬の念と共生の心の育成に取り組んでいる。		4.0	3.7 3.9

なお、児童は10項目のアンケートを行い、生徒・保護者・教職員アンケートと関連付けている。

(2) 教職員アンケート（記述式）※主な意見を抽出

『1 学習指導に関すること』

- 学習意欲が高い生徒が多く、授業が楽しい。一方で、基礎・基本の力（特に書くこと・文章力）を定着させることが困難な生徒もいて、個別の支援の必要性も強く感じる。（中）
- 今年、研修らしい研修を設定できていないので、担当として申し訳ない。子供が自ら学んでいく（コントローラーを握っている）学習環境や授業設計について教職員のみなさんと学べると良い。（中）
- 学力の二極化が目立ってきており、指導が難しいと感じている。（中）

『2 生活指導に関すること』

- 給食準備中のおしゃべりが気になることがある。食事中のおしゃべりは、自分の食事を目の前にしているだけなのであまり気にならないが、準備中は自分以外の誰かの食事を準備している以上、必要最低限の会話にするか、大きな声での会話を控える方が良いと思う。少なくとも、教員が関係のない話を振り一緒になって盛り上がるべきではないと思う。（中）
- 教員の都合で授業の終わりが遅れた場合は、その後無理に急がせる必要はなく、できる範囲で次の活動に入ったので良いと思う。（例：前の授業の終わりが遅くなったことで、次の授業が間に合いそうにない場合など。）まずは、時間を守ることが一番。（中）
- 強い口調の指導が気になる。命の危険や人権に関わることは、時として必要な場合があるかもしれないが、威圧的な指導は児童生徒の心には入らないと思う。（中）
- 生徒一人一人と向き合って、何かあれば直ぐに対応することができている。教員間で情報も共有できており、良いと思う。（中）

『3 学校運営に関すること』

- 職朝が復活して、情報共有が以前よりできるようになったのはとてもいいと思う。一方、朝の会のスタートに間に合わないことがあるので、できるだけ短く簡潔にすべき。（中）
- 勤務時間内に業務が完了するように業務を見直したい。業務を削減する際考えられるリスクは、どのような範囲まで許容できるのかを議論して、リスクはあっても踏み込んで削減しなければ、業務は減らないと思います。ただし、創造的な余白は必要なので、対話の時間などの価値は失わないことが大切だと考えている。（中）
- 校長をトップとして、円滑に運営できていると思う。（中）

- 職員会議で図られていないことが授業や行事で入ることがある。事前に教職員全員で共有できるよう、余裕を持って企画・準備・運営を行うと良い。

『4 寮に関すること』

- 新寮長・副寮長がとても頑張っている。1年生男子は、生活面・寮生日誌の記述などにおいて何度か個別に声を掛けていますが、まだまだ幼く自分本位の行動が目立つので、今後もより良い寮生活を目指すために、具体的なイメージを持てるような声掛けを継続します。
- 別子中学校卒業生にお願いして、女子寮生を中心としたメンターの役割を担ってもらいたい。長年、女性のサポートの不足が懸念されているので、市と連携して、報酬ありでサポートしていただきたい。
- 寮で起きていることの指導を学年団中心にしてくださり感謝している。寮での出来事に対して、寮担当教員が必要以上に介入すれば、寮生活が窮屈になるので、正直に言えば、今の指導体制がありがたい。
- 生徒たちが寮長・副寮長中心に、自主的に運営できていると思う。
- 周囲のことを考えず、自己中心的な行動が見られる生徒が一部いる。学校での指導は一定の効果があっても、時間が経つと、また乱れる。寮の職員や教育委員会からの定期的な関わりも必要であるとする。

『5 生徒会に関すること』

- 生徒会担当教員のサポートの元、生徒の主体的な活動ができていると思う。特に生徒会長は、明らかに行動が変わって成長しているのを感じる。
- 新生徒会役員が意欲的に活動していて、頼もしく感じる。特に生徒会長の成長が目覚ましく、これからが楽しみ。
- 来年度の生徒会の1つの企画としている「卒業生大同窓会（仮）」の実現をサポートしていきたい

『6 その他に関すること』

- 来年度の別子中学校の入学希望生徒の確保について提案したい。寮生にオンラインで生徒による学校説明会を5回程度行う。寮生全員が3～4人でチームとなり、1回担当する。小学生が別子中学校を身近に感じられることと、中学生が別子中をPRすることで得られる学びがあることなどのメリットがあると思う。
- 選考について希望する別子中教員を選考委員に入れてほしい。理由としては、現場教員の視点を選考に入れることで、ミスマッチを減らせるから。

また、入学生徒に対する教員の納得感が生まれるから。(現在の、選考する人と現場を預かる人が別であることのデメリットは結構大きいと思う。)

※児童・生徒及び保護者からの記述は特になし

2 アンケートの分析

(1) 児童・生徒アンケート

アンケート 14 項目中 13 項目が評価平均値 3.5 以上でだった。昨年度と比べて 6 項目増加した。その中でも特に高い評価となったのは、項目番号 2・5・12・14 であった。

また、12 に関しては、児童生徒、教師の平均が 3.97 と非常に高い。要因としては、BST (別子スマイルタイム) と称した小・中合同のエクササイズにより、小中の交流を図り、自己や他者の理解を深めるスキルを高めた。また、今年度より「まるごと担任制」を導入し、小・中全ての教職員で児童生徒を見守り、情報共有に努めていることが、児童生徒の「いじめ」を許さない仲間づくりにつながっていると考える。

(2) 保護者アンケート

アンケートほとんどの項目において評価平均値が 3.5 以上の高評価となっている。

「地域とともに育つ学校」や「ICT機器の活用」は保護者に理解されているが、それ以外の項目が教員の評価との差が見られる。学校の教育活動の発信に努めているが、それが保護者に伝わっていない。

(3) 教職員アンケート

アンケート 14 項目すべての項目で評価平均値が 3.6 以上となり、高い評価である。特に項目 2・5・9・11・12 が、最大評価である。「まるごと担任制」を取り入れたことや、地域との連携・協働が「別子ファーム」だけにとどまらず、地域交流対話活動「おしゃべっし」の機会を増やし、地域のより多くの大人と「名前」で呼び合える程の親密な関係を構築することができたから考える。

3 アンケートの結果からの課題について

2(2)で述べたが、複数の項目において児童生徒、教員と保護者の間に差が見られる。「一人一人のニーズに応じたきめ細かい指導や支援」の評価を見ると、保護者が今学校に一番望んでいることであると考え。今後は、学習支援の方法等について、教職員で研修を深め、改善を図る。

4 学校評議員による学校評価（記述）

(1) 学校評価アンケート結果の感想

- どの項目もほぼ当てはまっているので、素晴らしいと思う。
- 教師の評価よりも生徒、保護者の評価が若干低いことが、シビアな視点で見ているのかと感じた。
- 全体的に高評価だと思う。教師が高評価なのは、学校生活、寮生活において一緒に過ごす時間が教師の方が多く、児童生徒の状況や成長を実際に見ている差だと思う。
- 学校経営の「地域とともに育つ学校」「持続可能な社会の担い手育成を目指した教育活動」に関しては児童、生徒、教師で差がみられる。また、教育活動の「自立と社会参加に向けたキャリア教育」「自ら進んで学び活動し継続して実践できる児童生徒の育成」の生徒点数が低いことが気になる。
- ほとんどの項目で3.5以上の高評価であることが素晴らしい。さらに子供たちの評価も高く、学校生活の満足度がうかがわれる。

(2) 児童生徒の良い点や伸ばす必要がある点について

- 様々な問題が発生した場合に「自分事」として考えてほしい。多様性を受け入れ、他者と協力する力を身に付けてほしい。
- 何事にも積極的に行動することができている。継続してほしい。
- 地域的にも様々な課題はあるが、子供たちそれぞれが思う課題を共有し、つながり合うことで関心が高まり、課題解決の手立てが見えてくると思う。
- 別子ファームの活動をはじめ、苗から生産に至る過程で起きる疑問や問題も互いに話し合い解決することで、作物のより良い成長や収穫につながっている。
- すべてにおいて、人と人とのつながりを大切にすることで、生きる力の醸成につながると思う。

(3) 学校や教職員に対してのご意見

- 他者と協力して、コミュニケーション力を生かせるようにしてほしい。
- 思いついたときに、いつでも話すことができている。ここで意見はありません。
- 先生方におかれましては、毎日の遠距離通勤、本当にご苦労さまです。常に子供たちと正面から向き合い、ご指導いただいていることが子供たちの表情から読み取ることができます。これからも新時代を切り拓く子供たちの育成のために、ご指導をよろしくお願いします。
- 学校と地域が程よい距離感である。現在の指導を続けてほしい。

(4) その他

- 元気の良い子供たちだと感じている。挨拶もきちんとできている。
- 以前のように、地域内の児童生徒で小中学校が構成されていない現在で、地域との関わりが薄いという方もおられますが、私は地域とある意味適当な距離が保たれていると感じる。現在の距離感を大切にしていけば良いと思う。
- 日頃より、保護者の話をいろいろと聞いてくださる教職員の皆様に、感謝します。最近気になることは、中学校への受験者数が少なかったこと。私は子供を別子中学校へ通わせて本当に良かったと思うので、受験生が少ないことが単純に残念。危機感を持って、様々な意見を聞いて、対策を考える必要があると思う。
- 積極的に児童生徒が中心になり、地域の人達を引き込んで交流を増やしてほしい。中学生中心の「ふるさと別子夏祭り」最高です。
- 日々、一人一人が精神的にも身体的にも健康であり、常に笑顔で学校生活を送ることができるように望みます。